

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="632 719 1166 1093"><tr><td data-bbox="632 719 890 904">1</td><td data-bbox="890 719 1166 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="632 904 890 1093">3</td><td data-bbox="890 904 1166 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0122  
0123  
0124  
0125

全般概要		所屬	
轉入 十九年以降		第四軍第一一九師團	
轉出 十九年以降		部隊名	
編制人員		第一一九師團第四野戰病院	
隊別		通稱	
( ) 隊長名 ( ) 内は先代を示す		號	
戰時人員		滿一〇四九九八	
平時人員		郵便所名	
戰時		駐屯地	
戰鬥間の状況及損耗		入ソノ人員	
終戦後の人員變動		入ソノ迄の變動	
入ソノ迄の變動		隊別計	
滿洲残留			







# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="624 734 1161 1104"><tr><td data-bbox="624 734 882 920">1</td><td data-bbox="882 734 1161 920">2</td></tr><tr><td data-bbox="624 920 882 1104">3</td><td data-bbox="882 920 1161 1104">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0126  
0127  
0128  
0129

所屬 第四軍第一一九師團部隊名 第一一九師團病馬廠

通稱 號滿 二〇四八五八

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	編制人員	除別	隊長名	職人	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員	滿洲殘留
<p>乙編成 病馬廠 同支廠 津浦線より陸支團に移動新 南滿に支廠を置く 終戦時本廠と支廠の連絡と れず別々に收容される 昭和二〇、八、一五 本廠は富拉爾基にて武解半 数は作業十三大隊に編入さ れ十月初旬ウランスタハ 送らる、後に昭二一、六、 ハ、ロスタク第二十一支所に 移動す</p> <p>昭二〇、八、一九 支隊員は博克圖に收容され 一ヶ月後陸支團を回復 二〇、一〇、三 チエルナルガ着</p>		十九年以降	十九年以降		本廠 支廠	獸醫中尉 濱中勝五郎 見習士官 小林英則 (生還)	將校六 准士官 下士官 兵 一〇九 技手五 雇人 許 二〇名	博克圖 博克圖	博克圖 博克圖				



部隊名 第一一九師團病馬廠

通稱 號 滿二〇四五八

郵便所名

人員制編		別 隊	隊長名	開入		駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ッ返の變動	入ッ人員	滿洲殘留	收容所名	收容所	歸還人員	状況不明者数
見習士官 小林 英則 (生還)		本 廠	隊長名 (内は先代を示す)	戦員		平時	戦時									
支 廠		本 廠	隊長名	開入		駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ッ返の變動	入ッ人員	滿洲殘留	收容所名	收容所	歸還人員	状況不明者数
見習士官 小林 英則 (生還)		本 廠	隊長名 (内は先代を示す)	戦員		平時	戦時									
支 廠		本 廠	隊長名	開入		駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ッ返の變動	入ッ人員	滿洲殘留	收容所名	收容所	歸還人員	状況不明者数
見習士官 小林 英則 (生還)		本 廠	隊長名 (内は先代を示す)	戦員		平時	戦時									
支 廠		本 廠	隊長名	開入		駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ッ返の變動	入ッ人員	滿洲殘留	收容所名	收容所	歸還人員	状況不明者数
見習士官 小林 英則 (生還)		本 廠	隊長名 (内は先代を示す)	戦員		平時	戦時									





	廠	支	廠
		見習士官 小林 英則 (生還)	
		計 〇名 五	尉校六 准士官 下士官 兵 一〇九 技手五 雇人
		瀋南新	
		瀋南新	

4A 園像